

美作市獣肉処理加工施設視察報告書



伊予市議会議員 平岡清樹

視察日 2017年7月12日(水)

- 視察工程 7月12日 AM7時半～伊予市駅より出発
行き AM11時に岡山駅に到着
- 岡山で獣肉のペットフードを全国に販路を持つ「株式会社チコ」代表取締役社長 赤木氏の案内で「岡山県美作市 獣肉処理施設「地美恵の郷 みまさか」へ。
施設長 菊池潮見様と面会し、研修視察を行いました。
- 帰り 7月12日 17時半頃のJRで岡山を出発、22時頃に伊予市駅に帰りました。

ジビエ肉処理施設視察場所

- 視察場所 岡山県美作市平福600番地1
- 建築面積 2856.13m²(延床面積)
- 事業概要 H24年12月着工～H25年3月末完成
- 建築工事費 71,933千円
- 財源内訳 国庫交付金 25,058千円
- 市単独財源 46,935千円
- 計画処理数 鹿600頭/年 猪400頭/年
- 運営形態 市直営(公設公営)
- 職員数 9名(施設責任者3名 作業員6名)

獣肉処理施設の整備目的

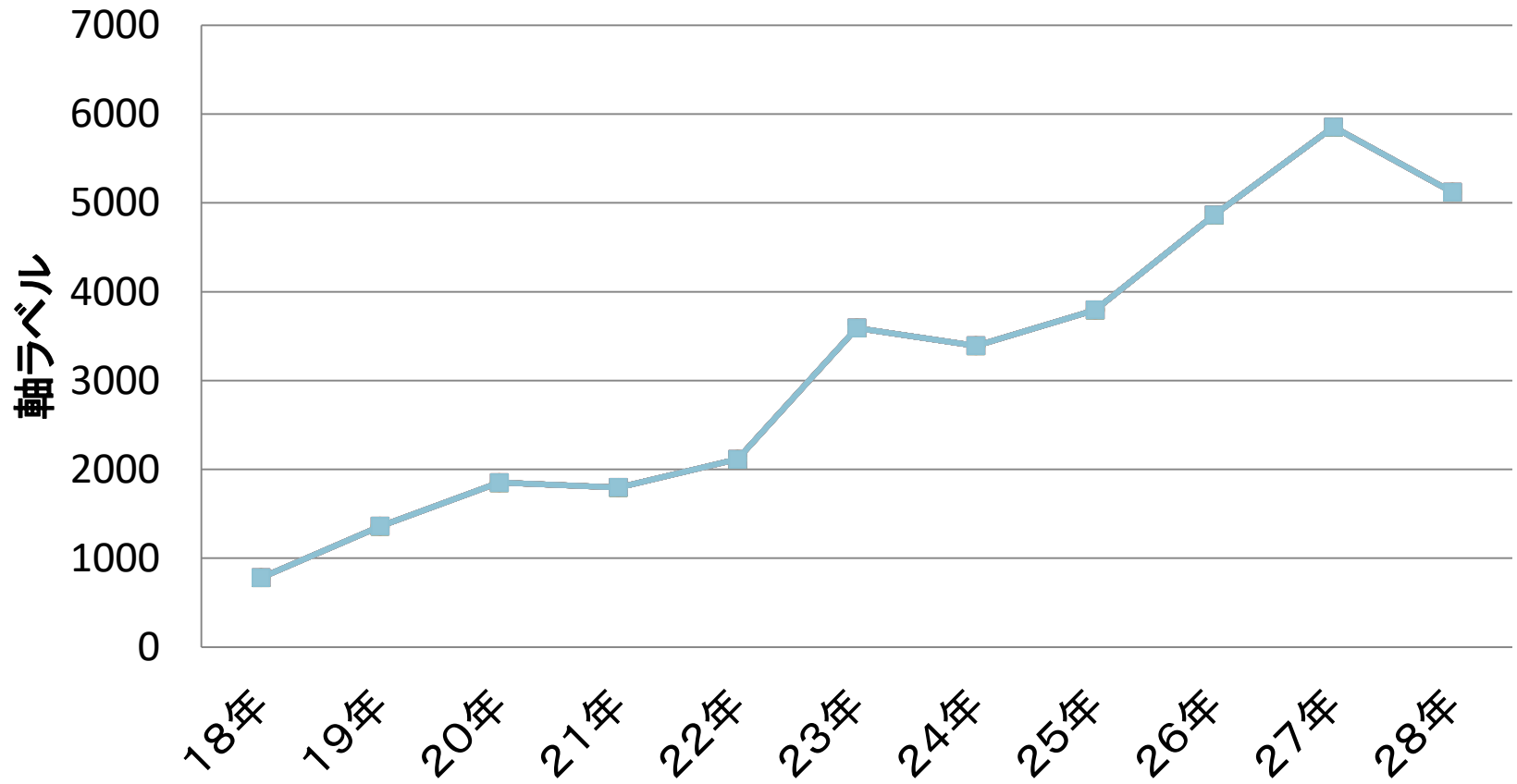
ハンターの負担軽減

従来は捕獲鳥獣を事故処理だったが埋設や焼却、解体は労力を要している。ハンターの高齢化と捕獲数の増加が追い打ちをかけて、猟友会から処分施設の整備を求められたこともあり、ハンターの負担軽減を早急に解決する事を目的とした。

新たな地域資源確保と雇用の創出による好循環

処分施設計画では最終的に食肉処理施設に決定。無益な殺生をするのではなく個体数の調整と食肉を新たな地域資源として生み出す事が出来る。携わる人員においても市民から採用する事で雇用創出に繋がる。

美作市 鹿捕獲実績



美作市獣肉処理施設 「地美恵の郷みまさか」受け入れ基準

●受け入れする個体

- 1 イノシシと日本鹿
- 2 個体重量は日本鹿30キロ以上
イノシシ20キロ以上
- 3 止め刺しして2時間以内の個体
- 4 血抜きがしっかりされた個体(頸動脈をカット)

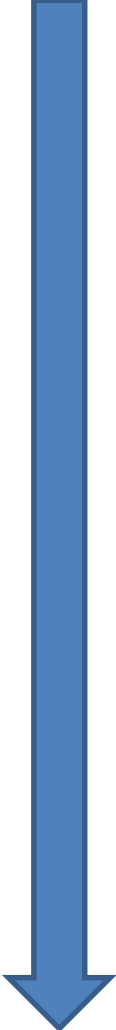
注意 個体重量が**受入基準重量未満の場合**や**食肉利用出来ない個体**は持って来て頂いても**お持ち帰り頂く事**になる。

美作市獣肉処理施設 「地美恵の郷みまさか」の受け入れ基準

●受入日時

- 1 搬入する個体は当日朝止め刺しして2時間以内に施設に搬入すること。
- 2 受入時間は、午前8時から正午まで(午前中)
- 3 搬入する際は、事前に電話連絡
(受け入れが多くなり、熟成庫に入らない場合は、受入停止する場合あり)
- 4 施設定休日＝毎週月曜日
- 5 臨時休業日＝年末年始・お盆休み

「個体の搬入から解体・販売までの流れ」



捕獲 ※止刺しから2時間以内のもの ※銃による止刺しは頭部のみ ※わなは前足を掛けたもの

搬入 ※受入は猪20キロ以上 鹿30キロ以上 ※わなや止刺しの状況を確認 ※腹部被弾は受入拒否

一次処理 ※素早く剥皮し内臓摘出処理を行う ☆作業員が外観や内臓の所見で正肉の可否を判断

熟成 ※数日間、熟成庫で熟成させる。

二次処理 ※脱骨、成形しながら精肉処理を行う。 ☆作業員は精肉可否を判断し不向きな肉はペットフード向けに処理をする。(打ち身のある肉は不可) ※真空包装・急速冷凍・金属探知を通しておく。

冷凍保存

販売 ※市内、県内外、主に東京大阪への販路を拡大している。(販売価格は現在－60%であった。)

獣肉処理作業撮影



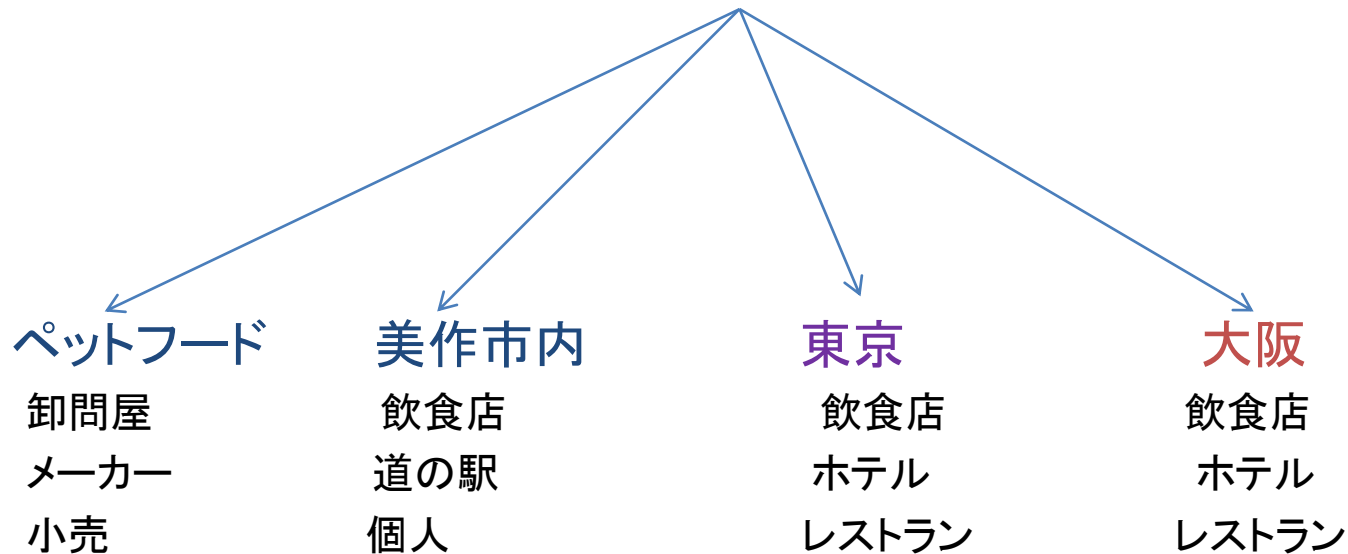
衛生管理の徹底された処理場でした。
市独自の搬入基準を設け精肉化する



作業員の知識と経験で可否の
判断をする為に十分研修した。

みまさかジビエ販売ルート

「地美恵の郷みまさか」



販路を独自で作っており、都会での人気の高さは抜群にあるとの事でした。フレンチレストランなどでも需要は十分にある。

ペットフードにも多用しており、全ての肉や内臓、骨をペットフード化して大きな売り上げになっている企業の在ります。

精肉にする為の正確な判断が必要！



熟成庫を持っており出荷まで全てこの施設で行っていた。



作業員の判断で精肉の可否が決まるので知識経験は必要と感じた。

ペットフードで町興しをしたいと考えた。



肉・骨・内臓など全ての部位をペットフード化出来るそうで、そのために肉の乾燥機導入も必須である。
市財政の問題もあり、民間企業の誘致を行政主導で行い、愛媛県と連携し、伊予市独自の製品作りにも着目するのも面白いのではないかと思います。
中予圏域連携で猟友会の協力も絶対に大事だと思います。

視察を終えて伊予市が実現する為には。

- 民間企業誘致に向けて空き施設の確保と有料貸付をする準備及び契約内容を制作する。
- 地元猟友会と議論を行い、猟友会との連携を模索する。中予圏広域連携で獣肉個体の収集方法を議論し構築する事で安定的な出荷量を確保出来る。
- 市民の雇用創出の為、広く周知徹底を行い特に高齢者の生きがいを創出する為に十分な努力する。
- 民間企業誘致に向けて具体的な目標(選定・誘致日・販路開拓・売上等)を設定し必ず目標達成に向けて尽力を怠らない計画と精神力が大事。